

コマーシャル ライセンスにおける Microsoft 365 Apps のライセンス

この簡易ガイドは、全てのマイクロソフト ライセンス プログラムに適用されます。

目次

概要	1
詳細	2
Microsoft 365 Apps ライセンス	2
Microsoft 365 Apps のライセンス認証オプション	2
Microsoft 365 Apps のリモート アクセス	3
Office Online Server のライセンス.....	3
Windows To Go で使用する Microsoft 365 for enterprise のライセンス	4
コマーシャル ライセンスによる Microsoft 365 Apps for enterprise の取得	4
オンライン サービスのダウングレード権	5
よく寄せられるご質問 (FAQ)	5
付録: Microsoft Office ソフトウェアと Microsoft 365 Apps.....	7

概要

この簡易ガイドでは、マイクロソフト コマーシャル ライセンス プログラムを通じた Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンス取得に関するよく寄せられるご質問について説明します。この簡易ガイドは、Microsoft 365 Apps for enterprise の使用权をサブスクリプション サービスとして取得する場合と、Microsoft Office をデスクトップ アプリケーション ライセンス (通常は、永続的な 1 回限りの購入ライセンス) に基づいてソフトウェア製品 (Office 2019) として取得する場合の違いを明確にするのに役立ちます。

この簡易ガイドは、Microsoft 365 Apps for enterprise の使用权に関する質問についてのみ説明します。Office のデスクトップ アプリケーション ライセンスの詳細については、「[コマーシャル ライセンスによる Microsoft Office ソフトウェアのライセンス](#)」簡易ガイドを参照してください。

詳細

Microsoft 365 Apps ライセンス

Microsoft 365 Apps for enterprise は、オンライン サービスのライセンス モデルの下でサブスクリプション サービスとしてライセンス付与される生産性ソフトウェア (Word、PowerPoint、Excel、Outlook、OneNote、Publisher、Access、Audio Services を含む) です。ユーザー単位またはデバイス単位でライセンスが付与されます。これは、Office Standard/Professional Plus 2019 とは異なり、ライセンス取得済みデバイスに紐づけられる永続ライセンスではありません。

Microsoft 365 Apps for enterprise ユーザー単位のライセンスにより、ライセンス ユーザーは、PC または Mac およびモバイル デバイスでも Office にアクセスできます。ライセンス ユーザーは、同時に最大 5 つのオペレーティング システム環境 (OSE) で、ソフトウェアをライセンス認証してローカルまたはリモートで使用することができます。Microsoft 365 Apps for enterprise ライセンスは、物理 OSE と仮想 OSE を同等に扱います。そのため、この 5 つの同時ライセンス認証は、5 つの異なるデバイスで行うことも、1 つのデバイス上の複数の OSE で行うこともできます。これらのデバイスには、企業が管理するデバイスと従業員の個人所有デバイスを含めることができます。ライセンス ユーザーは、異なるユーザー SL に基づいて別のユーザーがライセンス認証したソフトウェアを使用することもできます。

各ライセンス ユーザーは、サードパーティのデバイスを含め、任意のデバイスから Microsoft 365 Apps for enterprise にリモート アクセスすることもできます。これは、5 つのソフトウェア ライセンスのうち 1 つを、ネットワーク サーバーまたはサードパーティがホストするサーバー上で認証する場合も該当します。詳細については、以下のリモート アクセスのセクションを参照してください。

デバイス単位のライセンスでは、ライセンス取得済みデバイスへのソフトウェアのインストールは 1 回のみ可能です。ライセンス取得済みデバイスを使用するユーザーは、そのデバイスから、ネットワーク サーバーまたはサードパーティがホストするサーバー上のソフトウェアにリモート アクセスすることも可能です。詳細については、以下のリモート アクセスのセクションを参照してください。

Microsoft 365 Apps のライセンス認証オプション

Microsoft 365 Apps for enterprise は主にクイック実行という展開テクノロジーを使用してソフトウェアのライセンス認証を行います。このほか、RDS の仮想化テクノロジーと統合されている共有コンピューター ライセンス認証という方法もあります。

- **クイック実行**は、クライアントによる物理 PC へのフル インストールをサポートします。リモート デスクトップ サービス (RDS) ロールが有効になっていないユーザー専用の Windows 10 および Windows Server 仮想マシンへの、専用の仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) 展開もサポートします*。

* ネットワーク サーバーへの仮想化展開を可能にする追加ライセンスが必要です。ライセンスの必要性の判断については、ボリューム ライセンス パートナーにお問い合わせください。

- **共有コンピューター ライセンス認証**は、RDS の仮想化テクノロジーと統合された Microsoft 365 Apps for enterprise のもう 1 つのライセンス認証モードです。RDS ロールを使用した仮想化シナリオの例には、リモート デスクトップ セッション ホストや (RDS を使用して) プールされた VDI などがあります。Microsoft 365 Apps for enterprise を RDS ロールが有効化されたネ

ネットワーク サーバーに展開すると、ライセンス ユーザーは各自のサブスクリプション アカウントでサインインして、一時的に Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンス認証を行うことができます*。また、工場や医療現場などの共有デバイスで Microsoft 365 Apps for enterprise を使用することも可能となります。この認証モードで Microsoft 365 Apps for enterprise を展開しても、インストール可能な Microsoft 365 Apps for enterprise のデスクトップの個数 (5 つ) にはカウントされません。Microsoft 365 Apps for business が Microsoft 365 Business Premium のコンポーネントとしてライセンスされている場合は、Microsoft 365 Apps for business の展開時に共有コンピューター ライセンス認証を使用することもできます。

* ネットワーク サーバーへの仮想化展開を可能にする追加ライセンスが必要です。ライセンスの必要性の判断については、ボリューム ライセンス パートナーにお問い合わせください。

Microsoft 365 Apps のリモート アクセス

Microsoft 365 Apps for enterprise ソフトウェアを展開して、Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンスを持つユーザーまたはデバイスがリモート アクセスを行うようにすることもできます。お客様の専用サーバーまたは共有サーバー環境に展開が可能です。ユーザー単位のライセンスは、ライセンス取得済みユーザーに対してソフトウェアにアクセスする権利を付与します。デバイス単位のライセンスでは、ユーザーはライセンス取得済みデバイスを介して、ソフトウェアにリモート アクセスすることができます。

- **専用**サーバーのシナリオには、お客様の保有するサーバーへ展開する場合、または専用サーバーをホストするサードパーティを利用する場合があります。サードパーティを利用する場合 (「ソフトウェア管理のアウトソーシング」と呼ばれます)、その企業は認定アウトソーシング企業である必要があり、ホスト環境はお客様専用サーバー上になければなりません。認定アウトソーシング企業とは、対象プロバイダーではなく、対象プロバイダーをデータセンター プロバイダーとしても利用していないアウトソーシング企業を指します。対象プロバイダーの一覧は <https://aka.ms/ListedProviders> でご確認ください。
- **共有**サーバーのシナリオには、Microsoft Azure を使用する場合、または認定マルチテナント ホスティング パートナー (QMTH) のサードパーティ サービス プロバイダーを利用する場合があります。QMTH の一覧とその他の展開要件については、<https://www.office.com/sca> (英語) を参照してください。お客様が QMTH を利用する場合、その企業は対象プロバイダーになることはできず、データセンター プロバイダーとして対象プロバイダーを利用することもできません。対象プロバイダーの一覧は <https://aka.ms/ListedProviders> でご確認ください。

Office Online Server のライセンス

Microsoft Office Online Server を使用すれば、だれでも Office Online ドキュメントに参照のみのアクセスを行うことができます。

Office Online ドキュメントを編集するには、ボリューム ライセンスを通じて Office ライセンスを取得する必要があります。Microsoft Office Online Server が自社運用で展開されている場合には、Microsoft 365 Apps for enterprise により Microsoft Office Online を使用するライセンスが付与されます。Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンスを取得したユーザーは、Office ライセンスを取得していないデバイスを含む任意のデバイスから Office Online Server を使用してドキュメントを編集できます。外部ユーザー

–* は、Office ライセンスがなくても Office Online ドキュメントを参照または編集できます。Microsoft SharePoint Online を含むすべての Microsoft 365/Office 365 プランには、ホストされているサービスとして Office Online が含まれています。

M365 プランについては、こちらを参照してください <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/business/compare-all-microsoft-365-business-products>。

Office Online Server のライセンスをお持ちで、ボリューム ライセンス サービス センターへのアクセス権がないお客様は、以下の方法をお試しいただけます：

- VL または Open のお客様は、[サービス センター](#)よりアクセスしてください。
- ダイレクトのお客様は、O365 管理センターからリクエストを送信するか、[こちら](#)をご確認ください。

* 外部ユーザーとは、お客様の組織またはお客様の組織の関連会社で働く従業員でもなく、オンサイトの契約社員や代理店でもないユーザーです。

Windows To Go で使用する Microsoft 365 for enterprise のライセンス

ライセンス取得済みユーザーが、Windows To Go を搭載した USB ドライブにインストールされた Microsoft 365 Apps for enterprise を使用するには、ワーク デバイスに次のライセンスを取得します。

- ソフトウェア アシュアランス付き Windows 10、Windows E3/E5、Microsoft 365 F3/E3/E5、または Windows Virtual Desktop Access のサブスクリプション ライセンス
- Microsoft 365 Apps for enterprise*

*共有コンピューターのライセンス認証が必要になる場合があります。

結果として、ライセンス ユーザーは社内でも社外でも、ライセンス取得済みワーク デバイスのすべてで、USB ドライブを使用して Microsoft 365 Apps for enterprise を実行できます。

コマーシャル ライセンスによる Microsoft 365 Apps for enterprise の取得

Microsoft 365 Apps for enterprise は、Microsoft Enterprise Agreement、Microsoft Enterprise Subscription Agreement、Microsoft Online Subscription Agreement、Microsoft Cloud Agreement、MPSA、Open Program および Microsoft Enrollment for Education Solutions (Campus and School Agreement に基づく) を通じて提供されます。

Microsoft 365 Apps for enterprise は、スタンドアロンのユーザー SL として提供されますが、特定の Office 365/Microsoft 365 プランにもコンポーネントとして含まれています。以下のいずれかのライセンスを取得済みユーザーには、Microsoft 365 Apps for enterprise のライセンスが付与されます：

- Microsoft 365 Apps for enterprise [または](#)
- Office 365 E3/E5 [または](#)
- Microsoft 365 E3/E5

Microsoft 365 Apps for enterprise は、政府機関および教育機関向け契約に基づいて取得することもできます。Microsoft 365 プランの比較は、こちらで行うことができます <https://www.microsoft.com/ja-jp/microsoft-365/business/compare-all-microsoft-365-business-products>。

オンライン サービスのダウングレード権

Microsoft 365 のお客様は、最新の機能とリリースにより、最新のテクノロジーにアクセスします。マイクロソフトは、通常すべてのサブスクリプション サービスで、サービスの最新バージョンのみを提供します。このため、Microsoft 365 Apps for enterprise ライセンスではダウングレード権は提供されません。

よく寄せられるご質問 (FAQ)

Q1: Microsoft 365 Apps for enterprise と Office Professional Plus 2019 の違いは何ですか。

A: Office Professional Plus 2019 と Microsoft 365 Apps for enterprise はどちらも、同じ生産性ソフトウェアおよびアプリケーション エクスペリエンスを提供します。ただし、Office Professional Plus 2019 は、PC にインストールされ、その PC に関連付けられる 1 回限りの購入ライセンスです。これは、ボリューム ライセンスを通じてのみ提供されます。Microsoft 365 Apps for enterprise は、ユーザー単位/デバイス単位のサブスクリプションとして提供されます。この 2 つの Office ライセンス モデルの比較については、このドキュメントの [付録セクション](#) を参照してください。

Q2: 共有コンピューターのライセンス認証が含まれる Microsoft 365 Apps for enterprise サブスクリプションを教えてください。

A: Microsoft 365 Apps for enterprise が含まれるすべてのライセンスで共有コンピューターのライセンス認証を行うことができます。これには、以下のライセンスが該当します：

- Microsoft 365 Apps for enterprise Office 365 E3/E5
- Microsoft 365 E3/E5

また、同等の政府機関および教育機関向け SKU もすべて該当します。さらに、Project Online と Visio Online にも共有コンピューターのライセンス認証が含まれます。

Q3: 共有コンピューターのライセンス認証では、何台のマシンのライセンス認証を行うことができますか。

A: Microsoft 365 Apps for enterprise ユーザー単位のライセンスでは、共有環境以外の最大 5 台のデスクトップ PC または Mac のライセンス認証を行うことができます。共有コンピューターのライセンス認証によって Microsoft 365 Apps for enterprise にサインインした場合は、ユーザーがデスクトップにインストール可能な個数 (5 つ) にカウントされないため、ユーザー アカウントの管理ページには表示されません。

Q4: ネットワーク サーバー上の Office 展開にアクセスするには、どのデバイスを使用できますか。

A: Office Professional Plus 2019 のデバイス単位のライセンスとは異なり、Microsoft 365 Apps for enterprise のユーザー単位のライセンスでは、任意のデバイスからネットワーク サーバー上の Apps 展開環境にアクセスできます。また、タブレットなどのモバイル デバイスから Microsoft 365 Apps for enterprise にアクセスすることも可能です。

Q5: 個人所有デバイスで Microsoft 365 Apps for enterprise を実行して、自宅から仕事をすることはできますか。

A: はい。Microsoft 365 Apps for enterprise のユーザー単位のライセンスは、同時に最大 5 台のデバイスにインストールできます (ライセンスを取得したユーザーのみが使用できます)。

Q6: 個人所有デバイスを職場に持ち込んで、Microsoft 365 Apps for enterprise で使用することはできますか。

A: はい。Microsoft 365 Apps for enterprise のユーザー単位のライセンスは、同時に最大 5 台のデバイスにインストールでき、ライセンス取得済みユーザーは職場でも自宅でもどこでも使用できます。デバイス単位のライセンスでは、Apps を実行できるデバイスは 1 台のみ、個人用デバイスまたは職場用デバイスのいずれかとなります。

Q7: Mac で Microsoft 365 Apps for enterprise を使用できますか。

A: はい。Microsoft 365 Apps for enterprise は、MacOS で使用できます。

Q8: パートナーがホストするソリューションで Microsoft 365 Apps for enterprise を使用できますか。

A: いいえ。Microsoft 365 Apps for enterprise は、サービス プロバイダー ホスト チャネル (または SPLA パートナー) では販売されません。お客様は、マイクロソフト パートナー提供の Office Professional Plus をホストするデスクトップ ソリューション向けサブスクリイパー アクセス ライセンス (SAL) を引き続き購入することができます。

Q9: 共有パブリック クラウド環境に Microsoft 365 Apps for enterprise を展開できますか。

A: はい。Microsoft Azure 上で、または対象となるマルチテナント ホスティング パートナー (QMTH) による共有コンピューターのライセンス認証を通じて、Microsoft 365 Apps for enterprise を共有サーバーに展開できます。QMTH の一覧と追加の展開要件については、<https://www.office.com/sca> を参照してください。

Q10: Azure に Microsoft 365 Apps for enterprise を展開できますか。

A: はい。Microsoft 365 Apps for enterprise は、共有コンピューターのライセンス認証を使用して Azure に展開できます。

付録: Microsoft Office ソフトウェアと Microsoft 365 Apps

お客様は、Office をソフトウェア製品として、またはサブスクリプション サービスとして Microsoft 365 Apps をライセンスすることもできます。次の表で、2 つの提供形態の主な違いをご確認ください：

	ソフトウェア製品としての Microsoft Office	サブスクリプション サービスとしての Microsoft 365 Apps
ライセンス モデル	一度だけ購入するデバイス単位の永続ライセンス	ユーザー単位またはデバイス単位のサブスクリプション ライセンス
製品エディション	Office Standard, Office Professional Plus	Microsoft 365 Apps for enterprise、Microsoft 365 Apps for business
ダウングレード	ユーザーは、デバイスがライセンスされているのと同じ Microsoft Office のエディションの以前のバージョンにダウングレードできます。	ダウングレード権は適用されません。
リモート使用	<ul style="list-style-type: none"> ソフトウェア アシユアランスのローミング使用権 リモート デスクトップ サービス (RDS) または仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) によるリモート使用権が許諾されています。 USB デバイスへの Office のインストールと使用* 	<ul style="list-style-type: none"> ライセンス取得済みユーザーは、最大 5 台のデバイスにソフトウェアのコピーを 1 つインストールして、場所を問わずそれらのデバイス上でローカルに Microsoft 365 Apps を使用できます。リモート使用権は、ライセンス取得済みユーザーの場合、共有コンピューターのライセンス認証を有効化した仮想デスクトップ インフラストラクチャ (VDI) またはリモートデスクトップ サービスを介することで許可され、デバイス単位のライセンスの場合は、ライセンス取得済みデバイスからのリモート使用が許可されます。 ライセンス取得済みユーザーは、USB デバイスから Microsoft 365 Apps をインストールして使用できます。*
自宅使用	<ul style="list-style-type: none"> Work At Home (WAH) ライセンス ソフトウェア アシユアランスの自宅使用プログラム (HUP) ソフトウェア アシユアランスのローミング使用権 USB デバイスへの Office のインストールと使用* 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザーは 1 つまたは複数のコピーを自宅のデバイス (1 ライセンスあたり最大 5 台) にインストールできます USB デバイスへの Office のインストールと使用*

* Windows 10 Enterprise per device/E3/E5 ライセンスのソフトウェア アシユアランス特典、または Windows Virtual Desktop Access (VDA) サブスクリプション ライセンスの特典として利用できる Windows To Go が必要です。

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

本資料に記載された内容は情報提供のみを目的としており、明示または黙示に関わらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負いません。これは、ライセンスを取得した製品の許可された使用について説明したものであり、お客様との契約ではありません。ボリューム ライセンス契約に基づいてライセンス許諾された製品の使用は、契約の条項および条件に従う必要があります。この情報と契約の内容に矛盾がある場合は、契約の条項と条件が優先されます。マイクロソフト代理店を通じて取得されるライセンス価格はマイクロソフト代理店によって決められるものです。